

日衛連

JAPAN HYGIENE PRODUCTS
INDUSTRY ASSOCIATION
発行/社団法人 日本衛生材料工業連合会

紙おむつNews

No.55

2006.5

特集
Feature Articles

2010年までの排泄ケア用品の需要予測

～少子高齢化の進展と、使用形態の変化、ニーズの拡大を視野に入れ～

2005年、我が国の人口は、第二次大戦後を除く統計史上初めての総人口の減少を経験しました。新生児の出生数が1,067,000人で対前年比44,000人減少したのに対し、死亡者数は対前年比48,000人増の1,077,000人で、約10,000人の人口減少と推計されています。少子高齢社会がますます顕在化してくる我が国の社会構造は、労働人口の減少、社会全体の生活スタイル、消費構造など各方面で大きく変化しつつあります。

(社)日本衛生材料工業連合会では、このような社会の変化と、多様化する排泄ケア用品へのニーズを背景に、従来から業界自主統計の細分化、新分野の統計導入などを積極的に行ってきています。

このたび、拡大する「軽失禁用排泄ケア用品」の統計を新たに加え、今後5年間〔2006年(平成18年)～2010年(平成22年)〕の排泄ケア用品の需要予測についてまとめました。

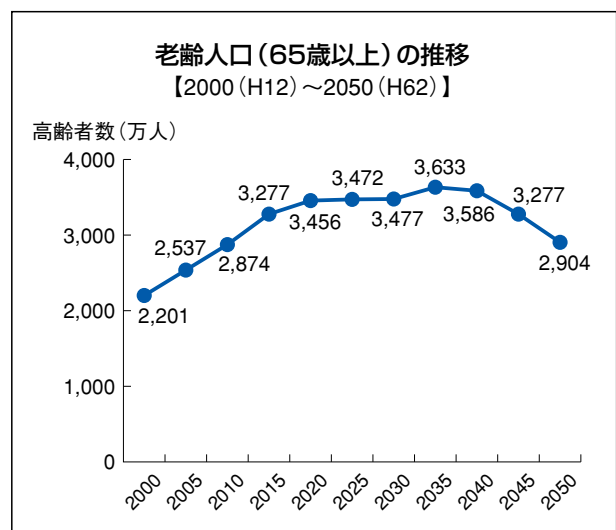
● 大人用紙おむつ

使用形態の変化に対応、「尿取りパッド」の需要予測を新設

今回の大人用紙おむつの需要予測作成にあたっては、2つの点に考慮しています。

その一つは、65歳以上の高齢者がますます増加していくという点です。

現在、我が国の65歳以上の高齢者人口は約2,500万人で全人口の19.5%を占めています。総務省統計局「日本の統計」(2006年版)によれば今後30年間は高齢者の増加傾向が続き、ピークと予測されている2035年には3,633万人に達し、全人口の33%を占めると予測されています。このような高齢者の増加は今後の大人用紙おむつの需要予測策定の大きな要因でした。

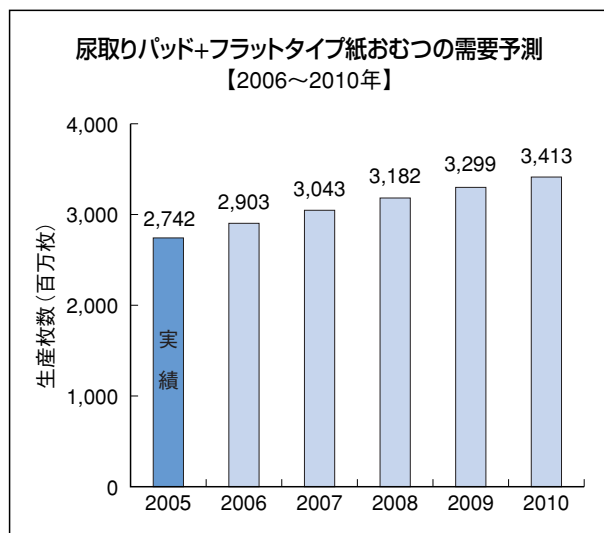
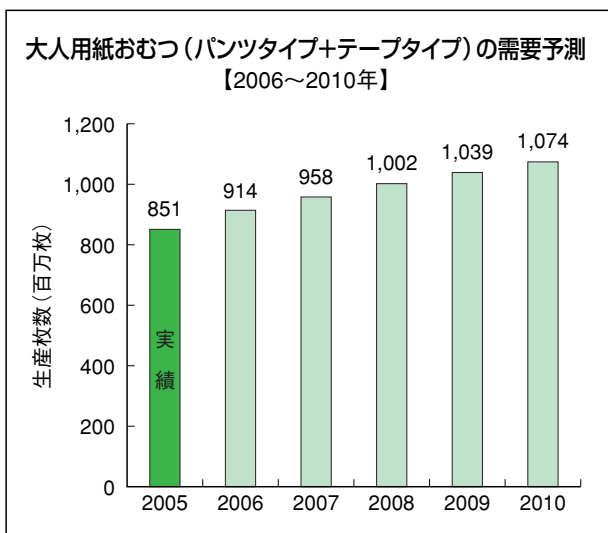


もう一つの要素は、ここ数年の間に排泄ケア方法が大きく変化し、紙おむつ単体でのケアから、尿取りパッドを併用する排泄ケアへと転換したことです。これは、テープ型またはパンツ型紙おむつと、尿取りパッドを併用することで、排尿のみの場合はパッドだけの交換で済ませる方法です。

この方法には多くの利点があります。まず、排尿だけの場合は紙おむつ全部を交換するのではなく、尿取りパッドだけを交換すれば済むため、交換時の労力が大きく軽減されます。介護される側にとっても同様に、交換が簡単に済むことになり

ます。また、安価な尿取りパッドの併用で、紙おむつの使用枚数が大幅に減ることから、排泄ケア全体の経済的負担が大幅に軽減されます。さらに廃棄物量の削減や、資源保護の面でも大きなメリットがあります。

今回の大人用紙おむつの需要予測に当っては、このような使用形態の実情に合わせ、「テープ型」+「パンツ型」の紙おむつの需要予測と、「尿取りパッド」+「フラット型紙おむつ（尿取りパッドと使用形態が似ている）」の需要予測を個別に試みました。



大人用紙おむつの需要予測

	実績	需要予測				
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
対象人口(千人)	1,731	1,796	1,860	1,922	1,981	2,037
転換率(%)	81.0	82.0	83.0	84.0	84.5	85.0
紙おむつ（パンツタイプ・テープタイプ）						
生産枚数(百万枚)	851	914	958	1,002	1,039	1,074
生産重量(トン)	84,647	90,925	95,314	99,678	103,349	106,899
重量(g)／枚	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
使用枚数/日	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
尿取りパッド・フラットタイプ						
生産枚数(百万枚)	2,742	2,903	3,043	3,182	3,299	3,413
生産重量(トン)	125,207	132,655	139,057	145,424	150,780	155,960
重量(g)／枚	45.7	45.7	45.7	45.7	45.7	45.7
使用枚数/日	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4

対象人口：平成14年日本医師会委託調査研究による在宅・在院の寝たきり老人推計(要介護者数)を採用。あわせて、65歳未満で紙おむつを必要とする20万人を加算した。
 使用枚数：平成17年日衛連生産統計に基づき、今後の1人の1日あたりの平均使用枚数をテープ型・パンツ型を1.7枚、フラットタイプ・尿とりパッドを5.4枚と予測。
 重量／枚：平成17年日衛連の生産統計に基づき、1枚当たりの平均重量をテープタイプ・パンツタイプの紙おむつを99.5g、フラットタイプ・尿とりパッドを45.7gで算出。
 転換率：平成17年日衛連の生産統計に基づき算出。18年以降はそれに基づく予測。

● 軽失禁用パッド、ライナー

マーケットの拡大に対応し、「軽失禁用」の需要予測を新設

今回の排泄ケア用品の需要予測から、新たに「軽失禁用パッド・ライナー」分野が加わりました。

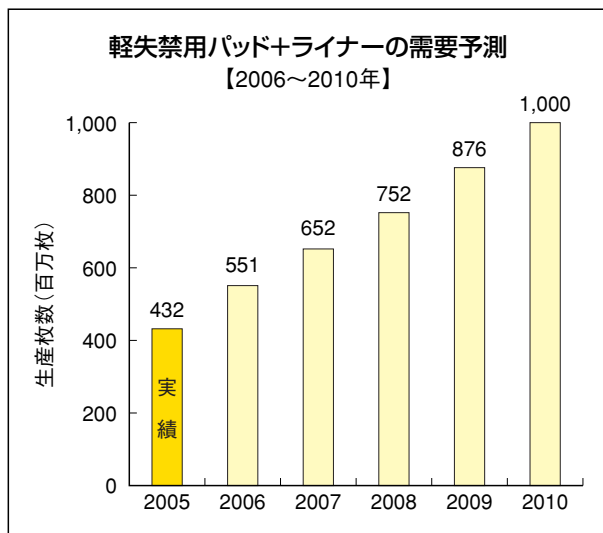
女性に多いといわれる軽失禁は、高齢者のみならず、若い女性でも経産婦を中心に約30%の女性が経験しているといわれています。また、男性の場合でも前立腺肥大症の患者数は40万人(2002年・厚生労働省統計)といわれており、今後の65歳以上の高齢者数の増加によって、日常的な軽失禁に悩まされる人口の増加が見込まれています。

従来、女性の軽失禁者の場合には生理用ナプキンを代替使用したり、吸収量の少ない薄型の尿取りパッドやおりもの用ライナーなどが使用されてきました。

各メーカーではこれらの潜在的な需要層に着目するとともに、ここ数年の間に団塊の世代が相次いで定年を迎えるなど、高齢者人口が一気に増加する環境もあり、新たな用途開発の一環として「軽失禁」市場向けの商品開発・マーケティングに力を注いできました。その結果、需要が着実に拡大しマーケットを形成しつつあります。

日衛連ではこのような市場の変化を的確に反映・把握するために、2005年の自主統計より、従来の「パッド型」から軽失禁分野の製品を分離独立させ、「軽失禁パッド・軽失禁ライナー」として統計処理を開始しています。

今回の需要予測は2004年度と2005年度の統計を元に算出していますが、算出基礎数値が2年度分のみであるところから、2006年の統計がまとも次第、再度見直しを行う予定です。



軽失禁用パッド+ライナーの需要予測

	実績	需要予測				
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
対象人口(千人)※1	17,372	17,392	17,405	17,403	17,386	17,359
使用率(%)※2	8.6	11.0	13.0	15.0	17.5	20.0
生産枚数(百万枚)	432	551	652	752	876	1,000
生産重量(トン)	4,694	6,006	7,103	8,195	9,551	10,899
重量(g)/枚	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9
使用枚数/月※3	24	24	24	24	24	24

※1 対象人口の算出根拠

	(千人)	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
①	女性人口(20歳~79歳)	49,917	49,977	50,014	50,009	49,958	49,880
②	女性使用者(①×1/3)	16,972	16,992	17,005	17,003	16,986	16,959
③	男性対象者(前立腺肥大症患者数)	400	400	400	400	400	400
	推定使用人口(②+③)	17,372	17,392	17,405	17,403	17,386	17,359

※2 使用率：生産枚数／(対象人口×使用枚数/月×12ヵ月)×100

※3 1ヵ月の一人当たり平均使用枚数算出根拠

		女性A	女性B	男性	総使用枚数 (千枚/月)	
①	使用枚数算出対象者	月経有女性(20~55歳)	閉経女性(56~79歳)	前立腺肥大症患者数		
②	対象人口算出根拠	失禁者は対象人口の1/3と推定				全員
③	対象人口(千人)	10,318	6,654	400		
④	使用枚数/月	20(月経期間中を除く)	30	30		
⑤	③×④(千枚/月)	206,360	199,620	12,000	417,980	

一人当たり平均使用枚/月＝総使用枚数(千枚/月)÷対象人口＝417,980÷17,372≒24枚/月

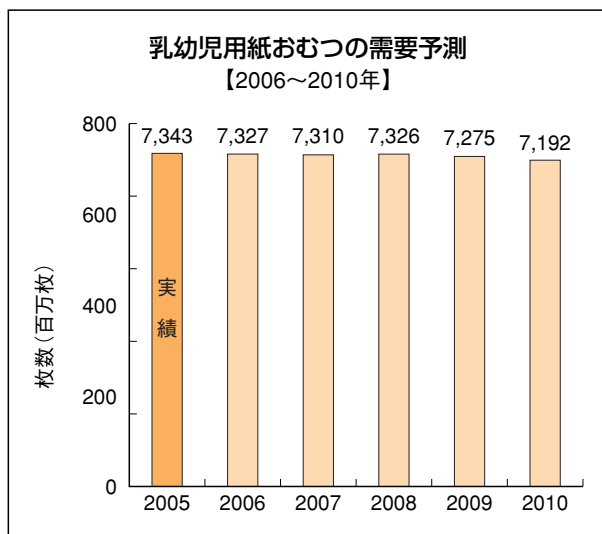
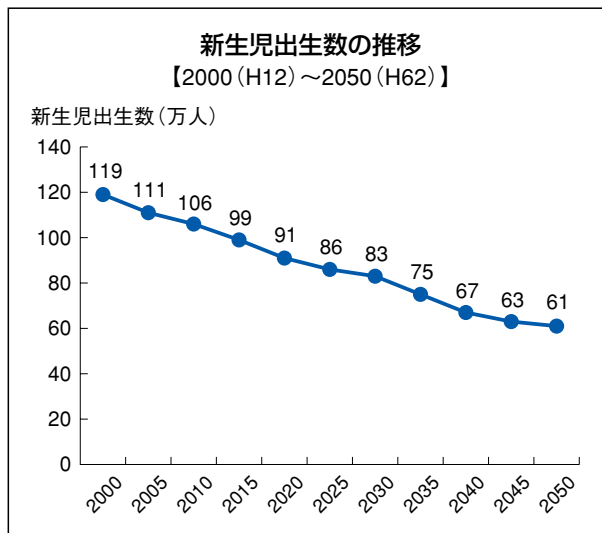
● 乳幼児用紙おむつ

高月齢での使用率の上昇を織り込んだ新しい需要予測

育児において紙おむつは既に必需品であり、布おむつから紙おむつへの転換率もほぼ上限に達しています。また、我が国の新生児出生数は長期減少傾向が続き、2005年には107万人にまで減少し、2050年には約半数の60万人にまで低下するといわれています。一人っ子が増加し、少なく生んで大切に育てる傾向はますます顕著になってきているようです。

今回の需要予測にあたり、大人用紙おむつ、尿取りパッド、軽失禁用パッド&ライナーは、今後も需要の増加が見込まれますが、絶対的な新生児出生数の低下が明らかな乳幼児用紙おむつ分野では、次第に需要が減少していくという結果となりました。

しかし、一方では乳幼児の紙おむつの高月齢での使用率が上がってきているという傾向があり、各メーカーでも従来のBIGサイズのさらに上のサイズ設定が相次いでいます。このような状況を背景にした今回の需要予測では、対象人口の減少、高月齢での使用率の上昇を考慮して算出しています。



乳幼児用紙おむつの需要予測

	実績	需要予測				
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
対象人口(千人)	3,684	3,670	3,658	3,662	3,629	3,576
転換率(%)	94.2	94.3	94.4	94.5	94.7	95.0
生産枚数(百万枚)	7,343	7,327	7,310	7,326	7,275	7,192
生産重量(トン)	269,541	268,884	268,289	268,867	267,008	263,942
重量(g)／枚	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7
使用枚数／日	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8

対 象 月 齢：0～40ヵ月。従来は36ヵ月であったが、高月齢での使用率があがってきているため40ヵ月と設定。

対 象 人 口：平成18年以降は国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月発表)の出生数の中位推計値を採用。

平成17年以前は厚生労働省・人口動態総覧の年次推移の出生数を採用。平成16年までは確定値、平成17年は推計値。

重 量／枚：平成17年日衛連生産統計に基づき、今後の1枚あたりの平均重量を36.7gと算出。

使用枚数／日：平成17年日衛連生産統計に基づき、今後の1人の1日あたりの平均使用枚数を5.8枚と予測。

転 換 率：平成17年は日衛連の生産統計に基づき算出。18年以降はそれに基づく予測。

紙おむつ・ライナー生産数量（日衛連調べ）

〈単位：トン、千枚〉

			平成16年		平成17年		平成18年							
			年計	前年比%	年計	前年比%	1~3月	前年比%	4~6月	前年比%	7~9月	前年比%		
紙おむつ	大人用	（パンツタイプ）	テープ型	千枚	322,798	101	351,432	109	89,117	113				
				トン	41,461	103	45,327	109	11,380	113				
		パンツ型	千枚	428,920	120	499,119	116	136,469	130					
			トン	36,052	119	39,320	109	10,898	130					
		合計	千枚	751,718	111	850,551	113	225,586	123					
			トン	77,512	110	84,647	109	22,278	121					
		フラット型	千枚	381,023	97	364,102	96	85,825	95					
			トン	26,614	102	25,363	95	5,947	94					
		（パッド型／その他）	尿とりパッド	千枚	1,982,360	—	2,136,571	108	541,323	105				
				トン	85,012	—	90,681	107	23,505	108				
	軽装パッド 軽装ライナー		千枚	288,592	—	431,820	150	129,928	115					
			トン	3,518	—	4,694	133	1,459	113					
	合計		千枚	2,270,951	118	2,568,391	124	767,425	115					
			トン	88,530	112	95,375	118	29,056	119					
	合計	千枚	3,403,692	114	3,783,044	118	1,078,836	115						
		トン	192,656	109	205,385	111	57,281	117						
	乳幼児用	（パンツタイプ）	テープ型	千枚	3,373,206	93	3,687,071	109	830,660	102				
				トン	110,162	90	118,970	108	26,814	101				
		パンツ型	千枚	3,195,305	103	3,656,097	114	854,114	94					
トン			142,088	101	150,571	106	35,505	96						
合計		千枚	6,568,511	98	7,343,168	112	1,684,774	97						
	トン	252,250	96	269,541	107	62,319	98							
合計	千枚	9,972,203	103	11,126,212	114	2,763,610	103							
	トン	444,906	101	474,926	109	119,600	106							
ライナー	千枚	70,532	88	62,150	88	8,901	49							
	トン	111	88	99	89	14	48							

※製品分類については、平成10年1月から発表 ※平成17年1~3月分より輸入分を含む ◆平成17年、18年の尿取りパッドの集計に一部誤りがあり、修正値を記載いたしました。

■寝たきりの人のおむつ代は、確定申告すると医療費控除が受けられます■

昭和63年1月からおむつ（寝たきり用）は、医療費控除の対象になっています。控除を受けるためには、①医師の発行する「おむつ使用証明書」②使用者の名前とおむつ代であると明記した「領収書」が必要です。詳しくは病院・医院、または税務署、市区町村役場にお問い合わせください。

紙おむつ・生理用品・衛生材料に関するご質問ご意見お問い合わせは下記へ